

元気ふじさわ健康プラン 藤沢市健康増進計画（第2次）  
中間評価（案）について

1 中間評価の趣旨

本市では、健康増進法第8条に基づき、国の「健康日本21（第2次）」、県の「かながわ健康プラン21」を踏まえ、市民一人ひとりの生涯にわたる健康づくりの指針として、平成27年3月に「元気ふじさわ健康プラン 藤沢市健康増進計画（第2次）」を策定しました。本計画は、平成27年度から令和6年度の10か年とし、「健康寿命の延伸と健康格差の縮小」を到達目標に、市民、地域、関係機関、行政等が各々の役割を担いながら健康づくりを推進してまいりました。

この度、本計画の中間年度として、目標の達成状況や取組を評価し、計画後半（令和2年度から令和6年度）の方向性をまとめました。なお、藤沢市歯科保健推進計画の中間評価については、本計画の中間評価に包含するものとします。

2 計画の概要

2015年 (平成27年)	2016年 (平成28年)	2017年 (平成29年)	2018年 (平成30年)	2019年 (令和元年)	2020年 (令和2年)	2021年 (令和3年)	2022年 (令和4年)	2023年 (令和5年)	2024年 (令和6年)
		藤沢市市政運営の総合指針2020							
		健康寿命日本一をめざす リーディングプロジェクト							
元気ふじさわ健康プラン 藤沢市健康増進計画(第2次)				中間評価					
藤沢市歯科保健推進計画				中間評価					
第2次食育推進計画(平成26年～)				最終評価	第3次食育推進計画				

本計画は、健康増進法第8条に基づく市民の健康増進に関する計画として、「藤沢市市政運営の総合指針」に基づき、その他の計画とも整合性を図るとともに、「藤沢市歯科保健推進計画」を本計画の「歯・口腔」の分野の基本的な方針として位置づけ、「第3次藤沢市食育推進計画」を本計画の「栄養・食生活」を担うものとしています。

基本理念については、平成22年10月に制定した「私たちの藤沢 健康都市」宣言とし、到達目標を健康寿命の延伸と健康格差の縮小としています。

本計画では、ライフステージごとに応じた市民一人ひとりが取り組みやすい行動目標

を、健康づくりの基本的要素となる「栄養・食生活」、「身体活動・運動」、「歯・口腔」、「喫煙」、「飲酒」、「休養・こころ」、「生活習慣病予防の取組」の7つの分野ごとに明示し、各々の行動目標について指標項目を定め、分野ごとに目標達成に向け取組の推進を図っています。

### 3 中間評価結果

#### (1) 評価方法

中間評価として、指標項目の目標値について、計画策定時の現状値と直近の数値を比較分析し、改善から評価困難まで4段階で評価をするとともに、アンケート結果やモニタリング値の経過と合わせて評価や課題を分析しました。

#### (2) ライフステージごとの指標項目の達成状況と課題

##### ア 乳幼児期・青少年期

乳幼児期・青少年期では、栄養・食生活、飲酒、休養・こころの分野などを中心に、指標項目の半数が改善していたものの、朝食の摂取や、やせや肥満の増加などに課題がみられました。

##### イ 成人期

成人期では、栄養・食生活、歯・口腔、喫煙などの分野を中心に、指標項目の2割で改善がみられましたが、約5割で変化がありませんでした。一方で、肥満の増加、身体活動や運動に取り組む人の割合の減少などが見られ、生活習慣病予防の取組や身体活動促進の取組をより一層推進するとともに、日常生活の中で継続して取り組めるようなしくみや環境整備、職域との連携による推進を図る必要があります。

##### ウ 高齢期

高齢期では、歯・口腔、喫煙の分野を中心に改善がみられている一方、身体活動・運動、飲酒、生活習慣病予防の取組の分野で悪化がみられました。成人期と同様、肥満の割合の増加、身体活動や運動に取り組む人の割合の減少が見られたほか、やせの増加傾向もみられていることから、身近な場で健康づくりに取り組める環境整備と適正体重の維持や早期からのフレイル予防の取組を推進する必要があります。

### 4 指標項目、目標値に関する整理

今回、国や県等の定める指標項目を参考に、新たな指標として5項目を設定し、計画策定時と比較できない指標項目について変更をしました。

		新たな指標項目	直近値 (H30)	目標	
成人期	栄養・食生活	塩分を控える市民の割合	20～39歳	21.5%	25%以上
			40～64歳	41.5%	45%以上
		生活習慣病予防のために普段から気を付けた食生活を実践している市民の割合	20～39歳	45.5%	50%以上
			40～64歳	60.2%	65%以上
高齢期	栄養・食生活	塩分を控える市民の割合	65歳以上	58.0%	65%以上
		生活習慣病予防のために普段から気を付けた食生活を実践している市民の割合	65歳以上	72.8%	75%以上
	歯・口腔	60歳代における咀嚼良好者の割合の増加	60歳代	82.3%	85%

## 5 中間評価の総括と計画後半（令和2年度～令和6年度）の推進

### (1) 中間評価の総括

本市の現状として、健康寿命は男女とも延伸しておりますが、この5年間で高齢化がさらに進み、要介護・要支援認定者数の増加や医療費に占める生活習慣病の割合が高い状況にある中、今後も平均寿命の伸びが予測されることから、健康寿命のさらなる延伸を図る必要があります。

また、市民の健康状態としては、乳幼児期・青少年期におけるやせの増加、成人期における身体活動・運動の減少や肥満の増加、一部の健診・がん検診受診率の低下、高齢期における身体活動・運動の減少、肥満の増加などの課題が見られました。

今回の中間評価において、健康寿命のさらなる延伸を図る必要があることから、本計画の改定はしないものとし、明らかになった課題を踏まえ、計画後半に向けて重点的に取組むものについて、本計画に位置付けるものとします。

### (2) 計画後半（令和2年度～令和6年度）の推進

計画前半においては、市民がいつまでも住み慣れた地域で、からだも心も元気でいきいきと暮らし続けるために、健康的な生活を送ることができるよう各ライフステージに応じた7つの分野における取組を推進してまいりました。

計画後半は、今回の中間評価及び国の動向や社会情勢などを踏まえ、健康寿命のさらなる延伸に向けて今までの取組を引き続き推進するとともに、市民や地域、関係機関、行政等が一体となって、以下について重点的に取り組んでまいります。

- ア 生活習慣病対策の強化
- イ 生涯を通じて自立した生活を送るための健康づくり
- ウ 次世代を含めたすべての市民の健やかな生活習慣の形成
- エ 身体活動促進対策の強化
- オ 受動喫煙防止対策の強化

## 6 今後のスケジュール

令和元年11月18日～12月17日 パブリックコメント実施

令和2年1月 歯科保健推進会議にて最終案検討

令和2年2月 藤沢市健康づくり推進会議にて最終案検討

令和2年2月 市議会定例会厚生環境常任委員会に最終報告

## 7 元気ふじさわ健康プラン 藤沢市健康増進計画（第2次）中間評価報告書（案）

別添資料2

以 上